



重点教育目標

Nice Try ～ Do it for something ～ (自分磨きの旅)

「2030プロジェクト」…開校時に児童生徒が決めた「10年後の岳陽の姿」

授業場面や行事で
目指す姿・身に付けさせたい力として設定

【創る】

- ◇笑顔いっぱいの学校
- ◇安心してかよえる学校
- ◇互いに高め合える学校

児童生徒は、自分自身を
磨き「お手本」から「憧れの存在」となる。

【鍛える】

- △礼儀正しく
- △個性を尊重
- △個性を発揮

Do it for something

【思いやる】

- 助け合う
- 大沼を大切にする
- 積極的に協力・交流する

教育実践

ICTの活用

<目的>

- ・情報活用能力の獲得
- ・20分授業との連動

<活用の視点>

- ・可視化：深く考える
- ・多様化：多様な考え
- ・共有化：考えをひろげる

20分授業の実践

<目的>

鋭い集中で理解と定着アップ

<内容・方法>

- ・20分単位の授業構想
- ・20分で方法や内容を変え

<期待される効果>

- ・主体的 対話的で深い学びによる学力向上

教科担任制

<実施の状況>

- ・1~3年：図工 体育 音楽
- ・4~6年：全教科

<期待される効果>

- ・専門性の高い授業
- ・系統的一貫型授業
- ・わかる楽しい学力向上

小中一体型9年間の一貫教育～中1ギャップの解消

<教師>

- ・じっくり育てる
- ・子ども理解が生きる
- ・地域連携が進む
- ・良さを生かし苦手を克服

<児童生徒>

- ・9年間安心して登校できる
- ・9年生のよさを実感できる
- ・いろいろな考えや人に触れる
- ・ちょっと大人になった気分

<保護者>

- ・学校への信頼が高まる
- ・学校との情報共有が進む
- ・子どもの将来を考える
- ・地域が子どもを育てる